

1 京都のオーバーツーリズム対策に資する  
ヴィジュアルイメージの活用

論文  
4年 内藤 有沙

2 デジタルコミュニケーションが盛んな現代において  
紙媒体広告から学べる現代広告の新しい可能性とは

論文  
3年 熊代 光佑

7 「学問レンズ」キット

データカード・学習カード  
4年 春木 俊明

8 現代社会における当事者自身の情報との  
向き合い方とは何か

論文  
3年 近藤 米太郎

9 テレビドラマに見える家族の多様性

論文  
3年 小林 亜依

10 不公平のないブランド世界観の構築

論文  
3年 甲斐 光

11 「自然界隈」～No need to knock～

写真展形式  
4年 小松 莉紗

プロジェクター上映  
映像コンテンツ

3 ファングッズを日常使いへ

映像・制作物  
4年 新田 悦士

4 身近な廃校活用の現状と成功例

映像  
3年 白杵 梨々菜

5 猫と共に歩む

映像  
4年 唐 芷瑩

6 アイドルを好きになるとは  
～乃木坂46から見るアイドル像～

映像  
3年 小野澤 綾花

31 Beneath the Surface.見えざる自然を守るために。

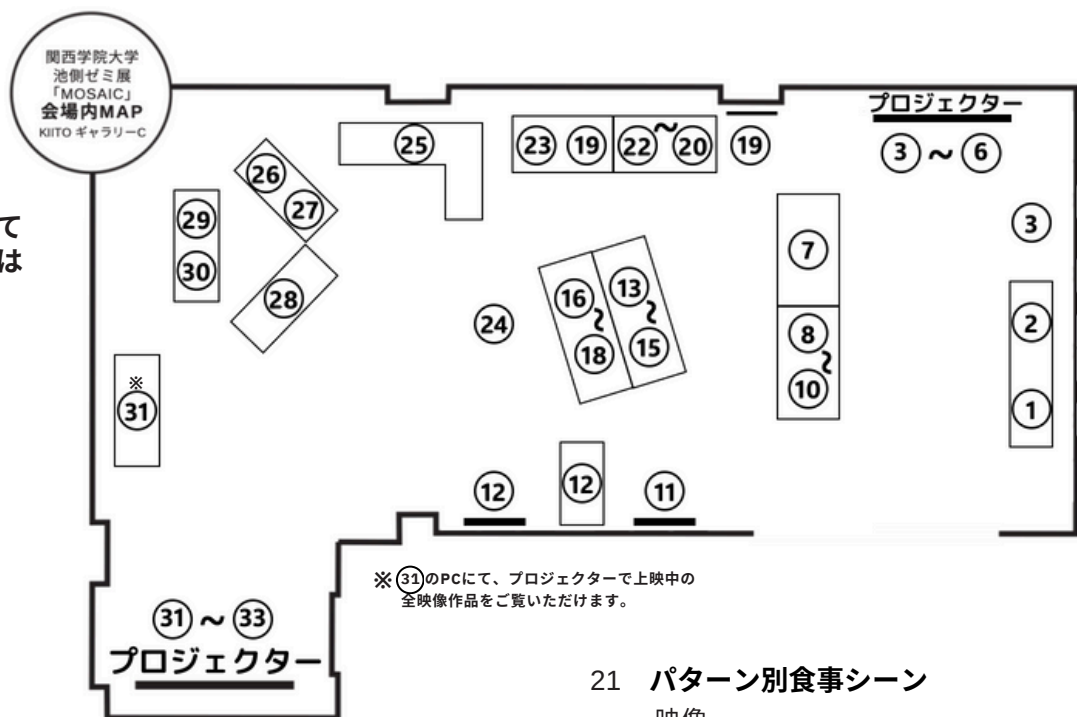
映像・Webサイト  
4年 飯田 航太

32 はまらいんや

映像  
4年 長谷川 実夢

33 つなぐ ～三ヶ日みかん継承の形～

映像  
4年 牧野 日音



12 BEYOND AGE：年齢を超えて

写真展形式・ハンドアウト  
4年 申 曦煙

13 NOZOKIMI

冊子  
3年 北村 宏美

14 こころの手紙

サンクスカード  
3年 萩山 紗妃

15 紙メディアによる情報伝達の可能性

ショップカード  
3年 新田 ちひろ

16 All Green～学生がSDGsを自分事として  
捉えるためのメディアの提案～

冊子  
3年 西山 和香

17 イイトコアツメ

冊子  
3年 四反田 百花

18 本に出会う楽しさをBOOK SELECTION

冊子  
3年 戸高 未佳子

19 しゅみとしごと

Webサイト  
4年 郷田 美咲

20 対人コミュニケーション

映像  
3年 加藤 百華

21 パターン別食事シーン

映像  
3年 片山 靖葉

22 子宮頸がんワクチンについて知ろう

映像  
3年 大田 亜実

23 Colournal

冊子・Webサイト  
4年 松本 夏芽

24 独断散楽NEOっぽ

冊子  
4年 古賀 七海

25 「いじわるなパッケージ」「食べ物の色  
と味」「マイラーメンはがき」

Webサイト・映像・体験スペース  
4年 平谷 佳玲

26 誰でも簡単にお薬管理ツールウェブサイト

Webサイト  
4年 渋谷 菜月

27 知っとう？こうべ

映像  
4年 藤井 玖光

28 me. ～心像形成における重要な要素の研究～

冊子  
4年 中島 ひなの

29 CHARM

冊子・Webサイト  
4年 大山 愛未

30 Dear\_\_\_\_,

冊子  
3年 加賀 百々香

関西学院大学 総合政策学部  
メディア情報学科 池側ゼミ展 2025

モザイク

# MOSAIC

視点のピースが集まるとき、未来の全景が見える

mosaic (モザイク)とは、小さなピースを集めて1つの形を成すアート形式。ひとりひとりの気づきや興味関心がピースとして重なって初めて未来という大きな"モザイク"が完成される。この展覧会は、映像コンテンツやデザイン提案という学生 個々の視点が社会と繋がる場、そして未来の全体像を来場者の皆さんと共に描ける機会となることを目指しています。

池側ゼミ生33人のピースを結びつけ、紡ぎ出した未来を共有します。

池側ゼミについて  
総合政策とは学際性を重視しながら課題解決を見出す学問領域であり、その枠組みの中でメディアと情報が担うのは課題と人々をつなぐ役割です。池側ゼミでは課題発見や解決、そして価値創造を考える上で特に映像メディアの利用可能性を多角的に考察しています。また調査からアイデア出し、そして提案に至る流れにデザインアプローチを取り入れることも重要視しています。

写真のみ撮影 OK  
フラッシュ撮影・動画撮影、他のお客様のご迷惑となる行為はご遠慮いただきますよう、ご協力お願いいたします。

関西学院大学 総合政策学部  
メディア情報学科 池側ゼミ展2025  
モザイク

MOSAIC 視点のピースが集まるとき、未来の全景が見える

2025年2月7日(金)～2月9日(日)  
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)  
主催：関西学院大学 総合政策学部 メディア情報学科  
池側ゼミ 池側ゼミHP <http://ikegawa-lab.sun.bindcloud.jp/index.html>

- 京都のオーバーツーリズム対策に資するヴィジュアルイメージの活用～新たな観光客対応のあり方～**

4年　内藤 有沙 / 論文

京都におけるオーバーツーリズムの現状を把握し、現在実施されている観光客対応の施策を視覚化して評価した。その上で、現代社会において浸透しているビジュアルイメージの特性を分析し、広告事例を基にオーバーツーリズム対策への応用可能性を論じた。後半では、画像生成AIを活用した具体的な対策案について検討している。

- デジタルコミュニケーションが盛んな現代において紙媒体広告から学べる現代広告の新しい可能性とは**

3年　熊代 光佑 / 論文

デジタル広告が台頭する現代において紙媒体広告の価値を再考し、その特性と可能性を探ったものである。その中で特にスーパーのチラシに焦点を当て、紙広告が持つ地域密着性、信頼感、視覚的・触覚的魅力を分析する。それを踏まえて、消費者に新しい広告体験を提供する未来戦略を提案するものである。

- ファングッズを日常使いへ**

4年　新田 悦士 / 映像 (7分10秒)・制作物
本作品は自らリデザインしたファングッズと、それに対するリアクションを収めたインタビュー映像の二部構成である。リデザインされたグッズを私生活で着用することで、新たなコミュニケーションが生まれる可能性があることを提案している。

- 身近な廃校活用の現状と成功例**

3年　白杵 梨々菜 / 映像 (14分24秒)
あらゆる社会問題が起因し、廃校活用のニーズが高まることを想定し、廃校活用の概要やメリットを動画で伝えることで、課題である「PRの難しさ」を解決し、事業者と地方自治体のマッチング促進や、社会全体の活性化、そして廃校活用の理解や興味に繋げる機会を作ることを目的とする。

- 猫と共に歩む**

4年　唐 芷瑩 / 映像 (12分)
友人の猫を預かった経験を通じ、外国人留学生が直面するペット飼育の課題を知った。帰国や健康上の理由での飼育放棄、情報不足や責任意識の欠如が問題として浮上した。インタビューの生々しい感情やリアルなエピソードを、言語の壁を越えて広く伝えることを目指す。

- アイドルを好きになるとは ～乃木坂46から見るアイドル像～**

3年　小野澤 綾花 / 映像 (11分48秒)
『乃木坂らしさ』を巡る複数の考察内容を乃木坂 4 6 の音楽にのせ、テンポの良く提示するために映像を活用する」を研究テーマとした。アイドルのブランド戦略を容姿、歌詞、性格の三要素から明らかにして、人がアイドルを好きになるメカニズムを分析している。

- 「学問レンズ」キット**

4年　春木 俊明 / データカード・学習カード
教科科目の知識や技能、見方や考え方を、カードというメディアへと表出化させることで、関連付けを図りたい教科科目の知識や技能、見方や考え方へのアクセシビリティを高め、教科横断的な学びの促進を図った。

- 現代社会における当事者自身の情報との向き合い方とは何か～アンケート結果から見たフィルターバブルの 対策方法の提案～**

3年　近藤 米太郎 / 論文

フィルターバブルという問題を抱える現代社会において、当事者自身の情報との向き合い方について、アンケート分析を通して考察を行っている。今回の結果から情報を扱う当事者自身の意識が問題解決において重要であり、能動的な情報収集を心掛け、情報に惑わされないための意識を強く持つ必要性がある。

- テレビドラマに見える家族の多様性**

3年　小林 亜依 / 論文
テレビドラマで描かれる既存の枠に囚われない家族の在り方が、現代社会にどのような価値を提供し、また未来の家族観にどのような可能性を切り拓くかを明らかにすることを最終目的としている。“現在の自分が理想とする家族像が一体どのようなものなのか”を深く考えながら読んでいただきたい。

- 不公平のないブランド世界観の構築～色覚障害者を持つ人々がブランドアイデンティを理解できるために～**

3年　甲斐 光 / 論文

近年、ブランドは色を通じて消費者に独自世界観を形成しているが、色覚障害者にとっては、この視覚的情報が正確に認識されないことが多いと感じる。色覚障害者が色の違いを認識しづらいという課題に対し、色以外の視覚要素や文字情報、音声など他の感覚を組み合わせたブランディング手法を提案する。

- 「自然界隈」～No need to knock～**

4年　小松 莉紗 / 写真展形式
アウトドアそのものを楽しむだけではなく、その地域に与え得る影響を「認知」することで、人々が訪れた先の「特性」を意識し、考えるようになるのではという仮説を立てフィールドワークを行い、それをもとに「人」と「地域」を表現した制作を行なった。

- BEYOND AGE：年齢を超えて**

4年　申 颯煙 / 写真展形式・ハンドアウト
年齢や社会の期待にとらわれず、自分の人生を生きる人々の物語を展示会という空間の中で自由を伝えることで、来場者に「社会の枠を越える」ことに対する恐怖や偏見をなくし、特別でなくてもいいという、日常の多様性という新しい見方を提供する。

- NOZOKIMI**

3年　北村 宏美 / 冊子
本作品は、全国の広報紙から特集を抜粋し、テーマごとに再編集した全国レベルの特集号である。自治体広報紙を二次利用し、市民だけでなく全国の人々に自治体の取り組みを横断的に"覗き見"してもらうことで、地方創生への貢献も期待される。

- こころの手紙**

3年　萩山 紗妃 / サンクスカード
「こころの手紙」は、サンクスカードを基にしたコミュニケーションを促進するためのメッセージカードの制作を通じて、思いを伝える新たなコミュニケーションの形を提案することを目的としている。コミュニティに応じた、内容・デザインが必要であったため、企業用と福祉施設用の2枚のカードを制作した。

- 紙メディアによる情報伝達の可能性～新たなショッピングカードの提案を通して～**

3年　新田　ちひろ / ショッピングカード

従来のショッピングカードの課題である、「1.手に取る必要がない 2.すぐに捨てられてしまう 3.メディアの役割である宣伝効果が希薄」の三点を解決する新たなカードの提案を行い、メディアとしての更なる可能性を追求する。

- All Green～学生がSDGsを自分事として捉えるためのメディアの提案～**

3年　西山 和香 / 冊子

学生にもっと手軽に「自分ごと」として、SDGsに触れてほしいという思いから生まれたハンドブック。何から手をつけていいかわからない大きな問題でも、実は自分が携われる場所は身近に存在している。自分のペースで自分でできそうなところからやってみてほしい。そのうち、自分の生活の選択肢の一つになっているでしょう。

- イイトコアツメ**

3年　四反田 百花 / 冊子
以前から地方創生に興味を持っていた私は、「関係人口の創出・拡大」という分野に関心を抱くようになった。そこで本研究では、「関係人口の創出・拡大」に、紙メディアからアプローチすることを目的として、宮城県気仙沼市を題材としたガイドブックの制作に取り組んだ。

- 本に出会う楽しさをBOOK SELECTION**

3年　戸高 未佳子 / 冊子
紙とデジタル書籍、それぞれの魅力や特性を紹介する小冊子。読書に関するアンケート結果を基に、状況に応じた最適な読み方を提案し、読書をより楽しむヒントが記されている。お薦めの本を複数掲載し、より具体的な読書をイメージしやすく親しみやすい。紙とデジタルが共存する新しい読書体験を探る一冊。

- しゅみとしごと**

4年　郷田 美咲 / Webサイト
コンセプトは「趣味×サロン」である。お客様にヘアだけでなく、新たな趣味を提供し、身近な舞鶴の自然から体験してほしい。「サロン」と舞鶴という「地域の魅力」、そして「自然の魅力」を伝えられるホームページを作成し、オーナーの人生をかたるホームページを制作しようと考えた。

- 対人コミュニケーション**

3年　加藤 百華 / 映像 (5分)
非言語コミュニケーションが対話において重要な役割を果たすことを、多くの人に映像を通して認識してもらうことを目的としている。映像を用いる理由は、約5分の視聴で非言語コミュニケーションの存在に気づき、視聴中にもその重要性を実感してもらうためである。

- パターン別食事シーン**

3年　片山 靖葉 / 映像 (6本)
ドラマの中での食事をするシーンは、キャラクターの性格、心情、人間関係、状況、などを表現する上で、重要な役割がある。本研究では、過去の日本のドラマ作品を分析し、分析を元に短編映像を制作。その映像から、演出を比較し、表現手段を明らかにする。

- 子宮頸がんワクチンについて知ろう**

3年　大田 亜実 / 映像 (14分13秒)
子宮頸がんワクチンの接種動向が再開してから間も無く4年。接種をした人はどれくらいいるのか。接種を考えていない人、接種することに抵抗がある人など接種対象者全員にこの映像から子宮頸がんワクチンとはどのようなものなのか知ることができる映像作品。

- Coloural**

4年　松本 夏芽 / 冊子・Webサイト
プランナーと日記を兼ねたスケジュール帳。日々の行動の振り返りと見返しを容易にするためのリフィルを計14タイプ作成した。Colouralはcolourとjournalを掛け合わせた造語。色々な自分を知り、彩りある人生を送ってほしいという思いが込められている。

- 独断散楽NEOっぽ**

4年　古賀 七海 / 冊子
「歩行視点が地域観光にもたらす体験価値の再考」と設定した。初めてその土地を訪れる旅行者や若者世代を対象に、「歩く」というシンプルな行為を通じて地域の魅力を広く発信し、散歩そのものを新たな観光体験へと昇華させることを目指す。

- 「いじわるなパッケージ」「食べ物の色と味」「マイラーメンはがき」**

4年　平谷 佳玲 / Webサイト・映像・体験スペース

味覚の共感体験を生む複合型メディア体験の考察。体験者はWebサイトでパッケージを通して色と味の関係を学習。次に視覚と香りを組み合わせた映像コンテンツで味覚を想起することを体験。最後に体験スペースで自身の味覚体験を反映した作品を制作し、持ち帰る。これらの一連の体験を通して、心理的に味覚を再現することを狙う。

- 誰でも簡単にお薬管理ツールウェブサイト**

4年　渋谷 菜月 / Webサイト
服薬管理の視認性向上を目的に、体循環図を使用したアニメーションと色彩効果を活用したウェブサイト。服薬の重要性を視覚的に伝え、薬の効果や飲み合わせを分かりやすく示すことを目的に、ユーザビリティを考慮したインターフェース設計を試みた。

- 知っとう？こうべ**

4年　藤井 玖光 / 映像 (5本)
地元を離れる若者にとって、生まれ育った土地に対する帰属意識を高めるための、若者向けメディアという位置づけのもと、詳しく知ること、さらに好きになる神戸をコンセプトに、「知っとう？こうべ」プロジェクトとして神戸に関する知識・知恵・文化をテーマに映像を5本制作。

- me. ～心像形成における重要な要素の研究～**

4年　中島 ひなの / 冊子
フォトエッセイ「me.」は、自分自身の視点や「私の世界」を表現することを意図している。また、協力者一人一人の「私の世界」を共有することで、互いの価値観や物事の受け取り方を理解し、新たな考え方に触れるきっかけとなることを目指している。

- CHARM**

4年　大山 愛未 / 冊子・Webサイト
CHARMは受け手の能動的参与を想定されたZINEであり、「じぶん」らしい表現を探索するためのパーソナルオリジナルスペースとして位置付ける。コンセプトは「アウトプット」だ。ページをめくるとアウトプットを促す仕掛けが散らばっている。このZINEを持つだけで「なんとなくワクワクする」ようなお守りになるよう思いを込め、CHARMと名付けた。

- Dear\_\_\_\_,**

3年　加賀 白々香 / 冊子
コンセプトは「自分自身に送る、自分を大切にするノート」。日記の初めと終わりに質問頁が付いており、質問に答える事で日記を書く前後でどの様に価値観が変わったのかが視化できる機能が備わっている。また、巻末の封筒で初めに書いた質問を保存する事で自分自身に手紙を送るというギミックを付けています。

- Beneath the Surface. ～見えざる自然を守るために。**

4年　飯田 航太 / 映像 (18分)・Webサイト
徳島県海陽町を舞台に、山、川、海が相互に繋がるエコシステムと、それを守る地域住民の自然保全活動を描いた映像作品を制作した。サンゴの群生地保護や植林活動などを取り上げ、自然と人々の関係性や、それが未来へと繋がる希望を視覚的に表現した。

- はまらいんや ～おどりつつなぐ未来～**

4年　長谷川 実夢 / 映像 (13分49秒)
「はまらいんや踊り」の陽気で活気あふれる雰囲気を前面に押し出し、今にも踊り出してくる作品。踊りは地域の結束力を高め、防災などのあらゆる場面で自身の助けになる可能性があることと提示した。これが、多くの人に伝わり、地域の行事の継続に寄与できれば幸いである。

- つなぐ ～三ヶ日みかん継承の形～**

4年　牧野 日音 / 映像 (22分)
過疎化の進む三ヶ日町の現状を実感し、特産物である三ヶ日みかんの生産者も高齢化、減少していると考えたことをきっかけに本研究に着手。地方の雰囲気を感じられる映像は、三ヶ日町、みかん栽培、生産者について知ることができる。